2days race in 木祖村 2024

in memory of 五十嵐　洸太

シニア　テクニカルガイド(Ver.231225)：

大会特別規則を下記のように定める
第１章総則
１．競技規則総則　この大会は特定上位選手を除いた選手に本格的なステージレース参加機会を提供すること、総合優勝選手を決めることを目的する。本大会はＵＣＩ，ＪＣＦ競技規則およびペナルティースケールに従う。特別条項については大会特別規則を定める。追加及び修正情報を本ＨＰ上で発表することがある。

２．競技規則の熟知　この大会に参加する選手、チーム役員は上記規則および、競技車両運行の慣例を熟知していることを前提としている。したがって、ＵＣＩ，ＪＣＦ競技規則、本大会特別規則を知らないことはペナルティースケール適用除外の理由とならない。

３．本大会は２０２４全日本選手権ロードレース出場資格付与大会を以下で申請している。
　エリート　個人総合全体で　３位以内
　Ｕ－２３　個人総合全体で　６位以内
　ジュニア　個人総合全体で　１０位以内

４．コロナ対策
　ＵＣＩではコロナプロトコールを２０２４に設定しないが、参加受付通知４月１５日　及び大会１週間目５月１０日（金）時点で、木祖村担当者と、感染状況ほかを勘案して開催の可否を告知する。
4-1 長野県におけるイベント開催の目安および感染防止策の策定に従って　大会を開催する。
　感染防止策として監督には以下の任務を求める。
　１）チーム内での感染防止策を実行する事
　　以下の備品の持参と使用を推奨する
　　① 消毒剤
　　② 非接触式体温計
　　③ 予備のマスク
　　④ ビニール手袋
　　⑤ 出走サインで使用する筆記用具
　２）ステージ１Ａ 個人タイムトライアルの追走車両は選手と同じチームの車両で、運転手メカニックの組み合わせとする。審判員が任意に乗車する場合がある
　３）補給の際　横５m以上の間隔を　隣のチーム役員と保持する事
　　補給員は走りながら選手に補給を行わないこと　補給用の区画は２箇所設定される

４）発生したごみはチームで持ち帰ること

第２章競技前まで

３．参加資格

本大会参加資格を下記とする。

シニア：

JBCF,,JCL 成績；UCI コンチネンタル登録チーム以外のチーム･選手

ただし、UCI コンチネンタル登録チーム選手であっても、同時期開催の国際レースに出場していない選手は参加できる。

（例：チームは TOJ に参加したが、出場できなかった予備登録以下の選手　または TOJ に参加できなかった国内コンチネンタル登録チーム）

２０２４JBCF 選手振り分け E１以上の選手を想定している。

２０２４JBCF 選手振り分け E３の選手には水準が高すぎると想定。

学連成績　：学連登録選手

学生ロードシリーズポイントを１P 以上獲得していることが望ましい

海外選手　：２０２４年３月１０日付け UCI ポイント４点未満の選手

未登録　　：JCF 未登録選手の参加を認めない

長野県車連では臨時登録を行わないため。

女子選手　：ＪＣＦ登録シニア選手で主催者の認めたもの

ジュニア　：ＪＣＦ登録ジュニア選手で主催者に確認し主催者の認めたもの

（２００７年／２００６年生まれの選手）

上記で構成する選手最低４名または最大５名、選手以外のスタッフ１名から３名のチーム。

総参加チーム数を３５とする。

注意書き：走行技術が未熟、集団走行が不慣れな選手には危険です。

主催者は JBCF クラスターE1 程度の技術実力を想定しています。

競技経験が浅い選手は危険防止のため参加を断念することを推奨します。

集団の密度、スピードが格段に高いため、集団内部の大量落車の原因となるためです。

例　２０２２，２０２３学生ロードシリーズポイントを持たない選手など

JBCF　E３の選手など

締め切り後ホームページに申し込み選手名簿を公表する。他チームの参加選手参加資格について疑義が有る場合、２０２４年 4 月１５日までにセクレタリーあてメール／書面で提出すること。（ＪＣＦ競技規則３９条１項修正）

レースセクレタリー　小川　知大　e-mail：info.kijimadaira2days@gmail.com

3-2 ジョイントチーム

当該連盟登録メンバーが５名に達していないとき、以下を認める

１）よそのチームからメンバーをレンタルして選手５名＋予備登録選手２名＋スタッフ 1～３名のジョイントチームを作る。（チームスタッフは２名を強く推奨する。）

２）チームジャージは統一する事。レースパンツについては、レンタル元の所属チームパンツの着用を認める。レンタルした選手はジョイントチームマネージャーの指揮に従う。

3-3 参加費、参加申込期限

参加費､参加申し込み期限、手続きを下記の様に確認する。参加費用は選手数に関係しない。

申込期限　　２０２４年４月０５日必着

選手名簿送付先

レースセクレタリー　小川　知大　e-mail：info.kijimadaira2days@gmail.com

セクレタリーあて E-mail にエクセル表添付して名簿を送付下さい。

この日付以降はレイトフィー５，０００円／ティームが加算されます。

正登録選手４－５名予備登録選手２名

正登録役員１－３名予備登録役員１名を登録できる。

ステージ１Ａではティーム内での出走順番を指定することが出来る。

チームジャージデジカメ画像（正面、右側）添付送付ください。

選手名簿様式他をホームページからダウンロード後必要事項を入力下さい。

現金申込先　　〒399-8501　北安曇郡松川村 5724　小林秀一まで

振込先　　八十二銀行大町支店(店番号４８５）　口座番号６８９　１９８

口座名　2days race in 木祖村実行委員会　事務局

申込締め切り後の選手役員の変更

集中修正受付期間内：選手、役員にかかわらず１名の変更につきに付き３，０００円とする。

集中修正受付期間外：選手、役員にかかわらず１名の変更につきに付き５，０００円とする。

実行委員会は申込締め切り後の選手役員の変更を拒否する権利を保持していることを確認する。

最低人数、選手４名　役員１名を満足しないチームは参加を拒否する　参加費は返還しない。

予備選手登録、予備役員登録制度を十分に活用することをレースディレクターは希望する。

＊計算例１．選手４名＋予備登録０名＋役員１名で登録したが　１名の選手が怪我で出走できないので、選手２名を加えて５名で出走したい。５月６～８日に集中して申請

→　３，０００円　ｘ２＝６，０００円

＊計算例２．選手４名＋予備登録０名＋役員１名で登録したが　１名の選手が怪我で出走できないので、選手２名を加えて５名で出走したい。５月６～８日以外の時期に申請

→　５，０００円　ｘ２＝１０，０００円

＊計算例３．選手４名＋予備登録選手２名、役員１名＋予備登録役員２名で登録来たが、１名の選手が怪我で出走できないので、予備登録選手２名を加えて５名で出走させたい
ライセンスコントロール時に予備登録選手２名を出走選手に変更する
→予備登録選手を出走させるので無料

3-4 参加日程

テクニカルガイド発表	2024 年 3 月 9 日
主催者指定チーム発表、参加申し込み開始	3 月 10 日
主催者指定チーム参加申し込み期限	3 月 25 日
一般参加枠数決定、告知、	3 月 26 日
一般参加枠　受付開始	3 月 10 日
一般参加チーム参加申し込み期限	4 月 05 日
参加名簿公開､参加資格審査開始	4 月 10 日
参加資格各審査終了	4 月 15 日
参加受付通知	4 月 15 日
現金送付・入金期限	4 月 20 日
登録選手役員の変更の集中受付期間	5 月 6~8 日

3-5 参加申し込み順位

参加チーム総数を３５とする。内訳は主催者指定チームと一般申し込み枠とする。

3-5-1 主催者指定チーム

＊2days race in 木祖村２０２３　上位入賞選手を擁するチーム（所属は 2023 で表記）

個人総合１位　スプリント総合２位
金子　宗平選手（群馬グリフィン）を含むチーム
個人総合２位　中里　仁選手（Wednesday racing）を含むチーム
個人総合３位
個人総合４位　岩田　聖矢選手（弱虫ペダル）を含むチーム
個人総合５位、スプリント総合１位
内田　宇海選手（弱虫ペダル）を含むチーム
個人総合６位　林原　聖真選手（明治大学）を含むチーム
個人総合７位　森田　叶夢選手（京都産業大学）を含むチーム
個人総合８位　Erik Diertens 選手（Avenir Cycling Yamanashi）を含むチーム
個人総合 9 位　宇田川　塁選手（ALDINA）を含むチーム
個人総合 10 位　菅野　蒼羅選手（日本大学）を含むチーム
スプリント総合 3 位　高岡　亮寛選手（Roppongi Express）を含むチーム

＊長野県内選手枠、実績育成枠

以下の選手が出走するチームとする

・小出樹選手（松本出身）を含むチーム

・山田拓海選手（飯田出身）を含むチーム

・青島冬弥選手（飯田出身）を含むチーム

・佐藤宇志選手（諏訪出身）を含むチーム

・佐藤大志選手（諏訪出身）を含むチーム

・横山航太選手（長野出身）を含むチーム

・阿部　　源選手（日本大学）２０２４インカレ優勝を含むチーム

・篠崎　蒼平選手（多摩学連）２０２４学生個人ロード優勝を含むチーム

・鎌田　晃輝選手（世田谷日大）２０２３U-23 日本選手権優勝

（チャンピョンジャージ着用を条件とする）

・清水　稜太郎選手（明治国際医療大学）を含むチーム

3-5-2 申し込み　資格の喪失

主催者指定チームの参加申し込み開始 は 2 月 15 日とする。申し込み期限は 3 月 11 日とする。
3 月 11 日までに参加申し込み作業が完了しない場合、主催者指定チームから除かれる。
主催者指定チームの枠から除かれた分の枠は一般申し込みチームの枠に振り替える。

3-5-3 一般申し込み枠

一般申し込み枠数は参加総チーム３５から主催者指定枠で参加するチーム数を除いたチーム数とする。

主催者指定チームの参加申し込み数が確定後　チーム数を 3 月 12 日　に告知する。テクニカルガイド作成時点で最大２７枠を想定しているが、主催者優先枠参加申し込み状況に応じて変化する場合がある。

一般申し込み枠の受けつけ開始を 2 月 15 日とする。

参加申し込み総チームが３５を超過したときには下記の順番で参加順位を決めて参加チーム総数を３５とする場合がある。

一般申し込み枠で同一母体から参加できるチーム数は制限しない。
優先枠とは別で計算する。ただし、それぞれのチームは明確に区別できるジャージを着用する事。
一般枠で３５チーム以上の申し込みがあった場合、以下の順とする。

１）セクレタリーが受信した参加申込資料が揃った日付の早い順

２）同日の場合、監督が JCF チームアテンダント資格、審判員資格、競技者資格、日本スポーツ協会コーチ資格を持つチーム

3-5 宿泊

２０２４年木祖村がコース沿いののり面工事を実施していただき、コースの安全を確保してもらえました。２０２４も雪解け後に最終的に安全確認を行い開催の可否を判断します。2days race in 木祖村２０２４はこうした木祖村のご協力で開催にこぎつけることが出来たことをご理解ください。２日間の

ステージレースでは、体力の回復が成績に大きく影響するとレースディレクターは信じております
　安心して睡眠するために、観光協会経由で木祖村内に宿を求めることを強く勧めます。村内の宿は薮原地区、スキー場周辺の２箇所です。どちらも会場から車で１０分ほどです。
　観光協会を通して　2daysRace in 木祖村２０２４参加選手が、気持ちよく宿泊していただける村内の宿を紹介します。
宿泊予約の際には「2days race in 木祖村参加　静かに眠りたい」とおっしゃって下さい。
　　木祖村観光協会　０２６４－３６－２５４３

http://www.vill.kiso.nagano.jp/kankou/staying_meal_souvenir/staying_meal_souvenir.html

４．競技日程

24.05.18 09：00-10：00　シニアライセンスコントロール、ゼッケン配布
　　（ゴールラインテントにて）
　10：00-10：30　シニアティームマネージャーミーティング
　　（ゴールラインテントにて）
　10:50--　　シニアステージ 1a 第一走者出走　３５チームで想定
　　個人タイムトライアル　　**8.5ｋｍ**　１分間隔
　　３順目終了後４順目開始までに１０分間の休憩を入れる。
　14:05　　最終選手出走
　14:20　　最終選手ゴール　直ちに表彰式
　14:30-14:45　シニアｽステージ゛１ｂ出走サイン、計測チップ作動確認
　(参加チーム数によりサイン、出走時刻に修整がある。)
　15:00－　　**シニアロードレース**　　**７５ｋｍ**（9km x 9 周 -6km ローリング）
　17:10　　先頭ゴール直ちに表彰式
　17:25　　最終選手ゴール直ちに交通規制解除。
　18:51　　日没予定時刻

23.05.19　08：00－08：30　ジュニア＋残念,ゼッケン配布、出走サイン　計測チップ作動確認
　　（出走全選手）
　09：00－　　ジュニア＋残念個人ロードレース 72ｋｍ（9km x ８周）
　11：30-11：45　シニアステージ２　出走サイン　計測チップ作動確認
　12：00－　　シニアステージ２
　　個人ロードレース　　**１２０ｋｍ**（９ｋｍx 14 周 －6km ローリング）
　15:15　　先頭ゴール
　15:30　　最終選手ゴール直ちに交通規制解除
　　チーム単位で　ゼッケン、フレームプレート、計測チップを返還

５．表彰、成績

区間順位、個人総合スプリント賞、個人総合時間賞、U-23 賞、O-40 賞とする。

5-1 リーダージャージ
個人総合時間
個人総合時間順位１位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。
リーダージャージは黄色単色とする。

総合スプリント賞
スプリント賞総合順位１位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。
リーダージャージは緑色単色とする。

U-２３賞
　２００２年以降に生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する白色ジャージを着用する義務を負う。参加選手の年齢構成により基準年を変更する場合がある。

O-４０賞
　１９８４年以前生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する桃色ジャージを着用する義務を負う。

リーダージャージ着用順位は個人総合時間、総合スプリント、年齢別ジャージの順とする。
チームジャージが各リーダージャージと類似している場合、チーム第 2 ジャージを着用するまたは、アームバンドを着用して、リーダージャージと判別が付くようにすること。
リーダージャージ胸部高さ２２ｃｍでチーム名／スポンサー名を表示できる。こ
チームで作成する表示の布/不織布の布は下記情報を参考にチームで用意すること。
最も幸運なチームの場合　ステージ１B 以降で
　①試合で着用するリーダージャージの背中と胸に各１枚　×４ジャージ＝８枚
　②試合後表彰式で新育着用するリーダージャージ背中と胸に各１枚　×４ジャージ＝８枚
　最大１６枚必要となる計算になる
レーザープリンタ用クロス シータス （不織布 ゼッケン対応品）　Ａ４　１０枚　クリックポストにて全国無料配送【在庫品】 :CP5102-HA-A4-10:プリンタペーパープロ - 通販 - Yahoo!ショッピング

リーダージャージの枚数
　ステージ１B 終了時点ですべてのジャージを主催者に返還ください。
　リーダージャージは主催者側で洗濯して翌日レースリーダーに渡します。
　２日目に総合優勝した選手にリーダージャージを差し上げます。
　２日目にリーダージャージを失った選手はジャージを主催者に返還下さい。

団体総合
　団体区間順位は各チームの上位 3 選手の個人時間の合計で順位を決定する。団体総合順位は各ステ

ージの団体区間時間の合計により決定する。団体総合 1 位のチームはステージ前に支給する黄色のゼッケンを着用すること。

5-2 成績

5-2-1 個人タイムトライアル

個人完走時間にペナルティータイムを加えた時間の優劣で決定する。

完走時間は 1／100 まで計測する

スタートでフライングを犯した選手に対して、フライングした時間を秒単位に切り上げた時間の２倍をペナルティーとしてゴール通過時刻に加える。

途中事故により完走できなかった選手は失格とする。（ステージ１Ｂはプロローグとして扱わない）

選手の完走タイムが失格ライン（先頭の 120%）以下の場合、ステージ１Ｂへの出走を認めない場合がある。

5-2-2 集団スタートステージ

フィニッシュラインにおける成績とする。

アクチュアルスタート地点はダム堤体上、公式スタートから６ｋｍ地点を予定している。

計時はアクチュアルスタートから開始する。

5-2-3 個人総合成績

個人総合成績は各ステージタイムからボーナスタイム、ペナルティータイムを加減したタイムの小さい順とする。

同タイムの場合、個人タイムトライアルにおいて記録した 1／100 秒単位を考慮する。

5-2-4 ボーナスタイム

ステージ１ｂ　８１ｋｍ（9km x 9 周 うち 6km ローリング）

7 周回(63km)先頭通過上位 3 選手に対してボーナスタイム（3，2，1 秒）を与える。

ゴール通過順位上位 3 選手に対してボーナスタイム（６，４，２秒）を与える

ステージ２　　１２６ｋｍ（９ｋｍx 14 周 うち 6km ローリング）

8 周回(72km)、１０周回(90km)、１２周回(108km)通過時先頭通過上位 3 選手に対してボーナスタイム（3，2，1 秒）を与える。

ゴール通過順上位 3 選手に対してボーナスタイム（10，6，4 秒）を与える

5-3 スプリント総合成績

スプリント成績はステージ１A 成績順及び 1B,2 ステージスプリントライン通過順に応じに下記の得点を与える。　合計得点順に総合成績を与える。

同点の場合は勝ち数による。勝ち数が同じ場合はより最後に得点した選手を優位とする。

ステージ 1B,2 スプリントラインはダム堤体右岸よりダム管理所前とする。

ステージ１ａ　　２，１点

ステージ１ｂ　　２４ｋｍ、３３ｋｍ、４２ｋｍ、５１ｋｍ通過時
３．２．１点
ステージ２　　２４ｋｍ、３３ｋｍ、４２ｋｍ、５１ｋｍ、６０ｋｍ通過時
３．２．１点

６．本部、ライセンスコントロール、ゼッケン配布、マネージャーミーティング

6-1　本部は以下の通り開設する。

240517　まで　　セクレタリー：小川　知大　e-mail：entry@kisomura2days.com
240518　08:00-18:00　　セクレタリー：小川　知大　e-mail：entry@kisomura2days.com
正沢親水公園先
240519 08:00-18:00　　セクレタリー：小川　知大　e-mail：entry@kisomura2days.com
正沢親水公園先

6-２シニア来場

6-2-1 一般情報

駐車　　チーム駐車配置図：駐車位置については一般情報参照。
ゴール 500m～350m に１チーム２台分の駐車枠を白線で引く　この白線枠を利用ください
３台目以降のチームカーは正沢公園ダム側の駐車場 No3 を利用するか　宿泊予定の宿舎駐車場に駐車し乗り合わせで来場ください
チーム区域に駐車すること、密を避けるため駐車場区域の指示に従うこと
地元の部駐車区域を尊重すること。
地元の部参加者車両はステージ 1B 競技開始後にコースから離脱する予定である。

6-2-2 ライセンスコントロール

欠場選手と予備登録選手との入れ替え登録、欠場役員と予備登録役員との入れ替え登録
ライセンス又はＪＣＦ登録申請メールの呈示
（競技役員分のアテンダントライセンスまたは競技者ライセンス）
ゼッケン、フレームプレート,計測チップ、計測チップ装着方法用紙の配布
（配布したゼッケン、フレームプレート,計測チップはステージ２終了後　チーム分を纏めて監督さんが本部に返還ください）
計測チップを返還しなかった場合１０，０００円の罰金とする

チームジャージ

（同一母体から参加する複数のチームジャージが類似しているとコミッセールが判断した場合、ガムテープなどで修整を加えることがある。）

6-2-3 マネージャーミーティング

出席　　チームマネージャー１名以上
議題　　点呼

特別規則説明（補給、機材補給、賞典）修正点及び重要注意点のみ

レース手順説明

キャラバン番号：チーム出走番号（＝待機場所を示す数字）のＡ４の紙
フロントガラス上部　後部ガラス上部に貼り付けてください。

テクニカルガイド（修正がある場合）

各チーム、審判団は最新のテクニカルガイドをホームページから印刷持参下さい。

チーム名を示す紙は様式を送ります。

各チームで入力して印刷して、A3 に拡大コピーして、追走車両の見える位置に貼ってください

マネージャーミーティングでテクニカルガイド等公開済み資料は配布しません。

6-3 コースに関する情報

別掲載コース平面図、コースプロフィール、駐車場受付、トイレ位置図、個人タイムトライアルコース図、個人タイムトライアルスタート地点配置図、個人タイムトライアルゴール配置図、ロードレースコース図、選手受け付け用駐車場配置図、参照のこと。

独立行政法人水資源機構味噌川ダムに関する情報は下記を参照下さい。

http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/index.html

コースは画面左上からダム沿いに走行し、トンネルを抜けて、木曽川源流ふれあい館前を右折、ダム堤体上を走り、ダム管理事務所前でスプリント賞ラインを通過します。

コース上最も標高の高い絶景ポイントが今回のゴール地点と設定しています。

７レース開始まで

7-1 集合・コースへの進入

7-1-1 コース内への進入用 ID について

釣りシーズンであり　釣り客車両との事故を防ぐために　下記の交通規制に協力されたい。

1) チームマネージャーはコース内への進入用 ID をダッシュボード貼り付けてください。

警備担当者には　一般釣り客と競技関係者の区別がつかないため　識別する必要があるためです。

コース内に進入したい全てのチーム車両に貼り付けを御願いします。

進入用 ID はメールにて選手登録責任者に送付します。

選手、チーム役員で必要数印刷下さい.

2) 進入用 ID の追加発行

交通規制は木祖村の皆さんのボランティアで行っております。交通規制ボランティアの負担を小さくするために以下の処置を行います。

・進入用 ID の無い車両がコースへの進入を希望する場合、コース警備ボランティアは本部小林先生に確認を取る。

・参加チームである場合、再発行手数料２，０００円/枚を支払うことを条件に、進入用 ID を現地で

チームに授与する。

・チームマネージャーはライセンスコントロール時に再発行手数料をセクレタリーに支払うこと。

・　参加者証明は１台の車両に対して１枚とする。したがって、複数の車両で参加者証明が必要な場合、必要台数×２，０００円の再発行手数料が必要になることを　予め告知する。

3)出来る限り、交通規制開始時刻以前、以後に車両進入させてください。

交通規制開始時刻以後　5月１８日１０：１０分以降　最終選手の通告まで（１７時４５分を予定）

5月１９日０８：５０分以降　ジュニア最終選手通過通告まで

(11時：05分予想)

１０：５０分以降　ステージ最終選手通過通告まで

(１５時４０分予定)

にコースに進入、退出することは、２０２４年大会では安全管理上禁止します。

交通規制時間以外で入場する場合も、必ず　コース進入用 ID をダッシュボードに貼り付けてください。

あまりに、ボランティア警備の方の手を煩わせるようになると、以下の可能性が発生します。

１．あまりに面倒なボランティアのため　警備ボランティアが集まらなくて　試合開催不能

２．審判員を専用に貼り付ける場合、人員増加分の経費を、賞金を削ることで生み出す。

３．運営に支障をきたすことになるので　罰金をチームに要求することになる。

どうか、自主的に　地元の皆さんに負担にならない運営に協力下さい。

7-1-2　コースの安全確保・エスコートモト

コースは当日進入規制の交通規制が実施される。

交通規制前にコースに侵入した車両（釣り人の可能性大）については、「交通規制に協力依頼のお願い」の張り紙をエスコートモトが試合前に　駐車車両に貼り付けて　協力を依頼します。

２台のエスコートモトの配置は以下を想定している。

先頭集団前方　　エスコートモト１

大集団前方/第３集団前方　エスコートモト２

駐車車両が競技時間中に移動を希望した場合、エスコートモトの誘導でサグワゴンの後方で順方向で走行して、コースから離脱してもらいます。

なお、COM１,ドクターカーより後方に下がった選手は、安全な走行に重点を移すこと。サグワゴンに看護師を乗車させる。

７－２ステージ１a：個人タイムトライアル

7-2-1使用可能車両

本年度個人タイムトライアルコースにおいて難易度の高いカーブが設定されています。選手安全上の配慮から、全ての個人タイムトライアル選手について追走車両を義務づけます。

この追走車両はＪＣＦ競技規則８４条８項（２）を適用しその車両高さを１．６６mに制限しません。

コロナウィルス感染対策として選手と同じチームカー、ドライバー、メカニックの組み合わせによる選手追走とする。各チームでドライバーとメカニックを用意して、地上要員としてマッサージャーを縦鼻するチーム体制を想定している。
モト、審判車両、立哨審判が競技の公正を確認するため、審判がチームカーに同乗する場合がある。
　マネージャーミーティングにおいてレースディレクターは追走車両であることを示す車両番号をマネージャーに渡す。各チームはチーム出走番号（＝待機場所を示す数字）のＡ４の紙をフロントガラス左側、リヤガラス右側に貼り付けること。
ステージ 1A競技開始 10 分前（１０：５０）には、スタート台後方のチームカー停車位置に車両を停車させること。メカニックは機材と一緒に乗車する権利がある。
　メカニックは各チーム専属のものが提供を受けた車両に乗車するか、選手が交代でメカニックとしてこの車両に乗車する事が出来る。
　随時、審判員が追走車両に乗車する場合がある。乗車を拒否した場合、ペナルティーの対象となり得る。
　選手追走中の車両の挙動についてはJCF競技規則９８条18項から20項に従うこと。
　チーム内第１走者の選手がゴールしたのち、追走車両は直ちに待機場所に移動すること

7-２-2 出走確認　器材
個人タイムトライアルステージでは出走サインは行わない。
任意抽出選手および、上位選手について器材確認を行う場合がある
公認ヘルメットのみ使用を認める。ダメージを受けたヘルメットは使用不可とする。

7-2-3 ステージａ：個人タイムトライアル発送
選手はスタート地点に出走時刻の５分前までに所在すること
追走車両は出走時刻の１０分前までに所定の隊列位置に駐車すること。
所定の隊列位置の先頭は路面に表示され、所定の隊列位置図はＨＰに掲載される。
選手出走時刻に追走車両が待機していない場合　選手は追走車両なしで指定時刻に発送する。

7-2-4 個人タイムトライアルステージにおけるタイムアウト
集団スタート区間での競走の安全のために、個人タイムトライアルステージにおいてタイムアウトを行う。
１位の選手に対して２０％以上遅れた選手は、失格とする場合がある。
失格となった選手は、日曜日には残念レースに参加申し込みして出場することが出来る。（参加費無料）

７－3 ステージ１ｂ、ステージ２　：集団スタートステージ
7-3-1 出走サイン
出走時刻の３０分前から１５分前までチーム全員そろって
出走前チーム単位で　チーム写真撮影を行う。

服装装備の確認をするので　指定順番で写真撮影ができなかった場合ペナルティーと対象とする。
写真撮影後に出走サインを行う。
出走サイン時にヘルメット検査を行う。
公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメット使用を審判団は禁止する権利がある。
フレームプレートについて

ロードレースで着用するフレームプレートを固定する紐、カッターナイフ、ガムテープほかものについてはチーム準備とする。
ビデオはコース左側から撮影するので、数字が撮影可能なプレート取り付けとする。
フレームプレートの切断はペナルティーの対象とする。
フレームプレート固定のためのガムテープほかを持参下さい。
腰ゼッケン固定に両面着テープは使用しないこと。保管維持管理に多大な労力が必要になります。
両面着テープの使用はペナルティーの対象とします

7-3-2 集合
スタートライン後方の集合エリアに競技開始１０分前までに集合すること
ステージ１ｂでは個人総合成績上位 10 名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。
　その後方はステージ１a タイム３０秒ごとのグループに分けた出走位置とする。
　成績による位置確認を行う場合がある、不正が確認された場合、最後尾に移動すること。
ステージ 2 では個人総合成績上位 10 名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。

８競技
8-1 ステージ１a：個人タイムトライアル
8-1-1 スタート
スタータのカウントダウンによる１分間隔スタートとする。
手動計時とする。
第三順と第四順の選手の間に１０分間の休憩を入れる。

8-1-2 競技
ＪＣＦ競技個人タイムトライアル競技規則に従う。
追走車両の挙動はＪＣＦ競技規則９８条１２から２４項を尊重すること。
選手と追走車両の間隔は２５m以上とする。（競技規則９８条１８項）
報告事項があるメカニック・同乗者は直ちにセクレタリーに報告すること。
事故などで競走を中断した場合、本部通過時にフィニッシュジャッジに報告すること。
指定範囲でゴールを通過した選手のみを計時対象とする。【別図参照】
暫定成績上位 3 選手を随時発表する。
対象上位 3 選手はチャンピオンチェアで表彰式をお待ちください。
マッサージャーはクールダウン用ローラー台、飲み物、タオル、着替えを選手待機場所に持参する事。
最終選手ゴール後直ちにチャンピオンチェアから表彰式を行う。

8-2 ステージ１ｂ、ステージ２：集団出走ステージ

8-2-1 スタート

スタート後のローリング区間はスタート後約６ｋｍダム堰堤まで行う。

２０１１年トンネル内の大量落車に対応した処置である。

正式競技開始はコミッセール２の緑旗によって指示される。

8-2-2 食料補給

シニア

ステージ１Ｂで６周回終了直前（走行距離５４ｋｍ)、ゴール手前直線区間で走路左側より認める。

ステージ２で７周回終了直前（走行距離６３ｋｍ)、９周回終了直前（走行距離８１ｋｍ）ゴール手前直線区間で走路左側より認める。

補給するスタッフは道路にでないこと。

補給を受けたい選手が走路左側に進路を変更すること。

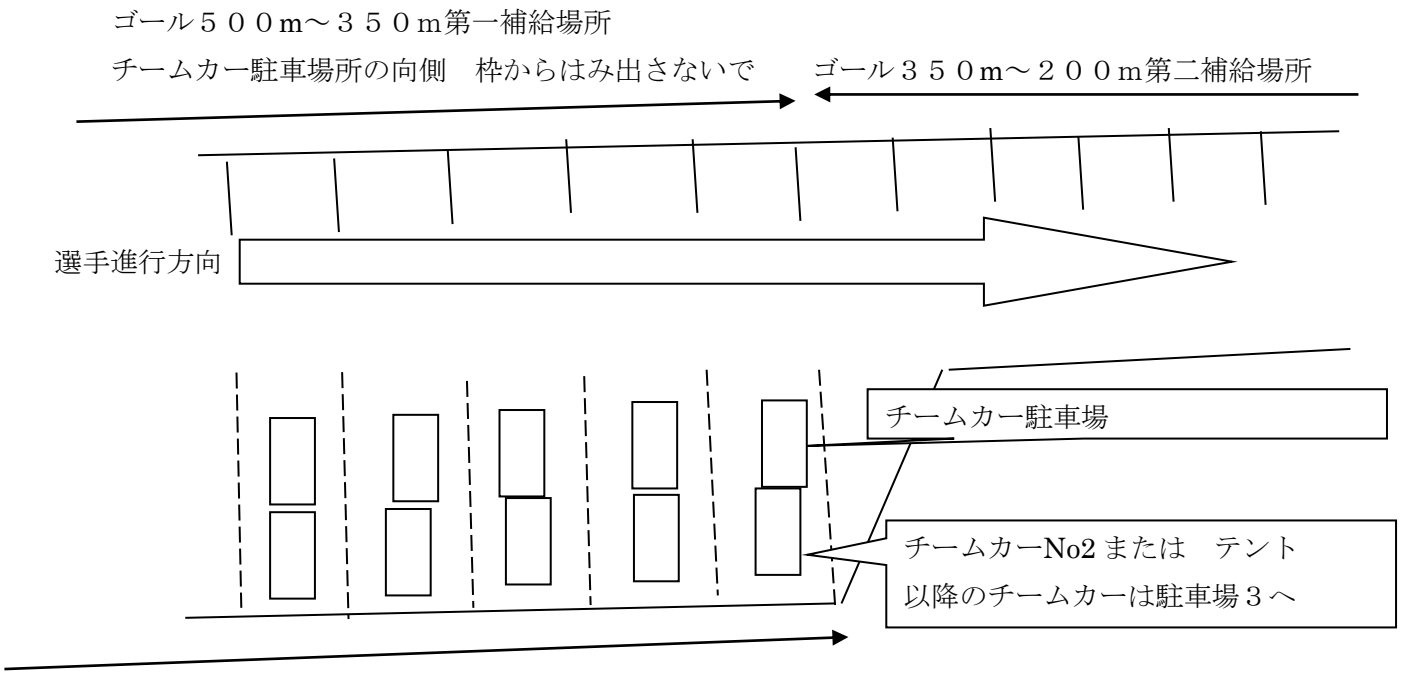
ラインのロードレースの補給を考慮して、今回補給は指定された回数だけとする。

上記以外の補給は規則外の補給(ペナルティースケール２４項２０SF＝２，８００円)に相当する。

・補給

いつも通り補給はゴール手前５００ｍ～２００ｍまでの登坂区間に指定の周回１回だけに設定予定。感染防止のため以下にご配慮ください。

① 補給場所イメージール



8-2-3 車輛からの給水

脱水症状対策のための共通ボトルを設定します。前記の補給に失敗したチームのために真水を入れたボトルを共通器材車１，２COM3 で運搬します。共通器材車１，２のボトル本数は２０本を目標とする。車輛からの補給は最初の３周回、最後の２周回は行いません。

補給を受けたいチームは審判車両の後ろの共通器材車までアシストマンを下がらせて水を受け取って、チームメイトまで運び上げてください。

最初の３周回、最後の２周回での給水は規則外の補給(ペナルティースケール２４項２０SF＝２，８００円)に相当する。

8-2-4 ゴミ捨てについて

1)奥木曽湖は中京圏の大切な水がめです。綺麗な環境を維持することに協力下さい。

2)ゼリー等食料残滓は野生動物が里に降りてくる原因になります。

3)皆さんの賞金を削らない限り、主催者ではゴミ拾いの費用負担をすることが出来ません。

上記理由より、下記の特別競技規則を通告する。

選手はゴール手前(500～100m)補給区間かつグリーンゾーンのチームスタッフに対して　ごみを投げ渡すこと。グリーンゾーンはコース右側駐車帯に設定する。補給は左側からだけ行われる。

ゴミはチームで回収して持ち帰ってください。

グリーンゾーン以外の区間でゴミを投棄した場合　１回につき 3000 円のペナルティーとする。

このペナルティーに関しては　抗議を認めない。

皆さん方の自主的な協力で　綺麗な環境、効率よい経費を実現させてください

8-2-5 機材補給

共通機材車 2 台が機材補給を行う。審判車３は共通機材車をかねる

先頭集団のために共通機材車２が機材支援する。

大集団に対して共通機材車１が機材支援する。

機材補給を受ける選手は走路左端に停車すること。

スタートゴール手前直線左側のみでチームスタッフからの機材補給を受けることができる。

ニュートラル周回は認めない。

共通器材についてマヴィックジャパンから支援をお願いしている。(231226)

以下とする

共通器材１　：シマノリムブレーキ１１速　１セット＋ディスクブレーキ１２速１セット

共通器材２　：シマノリムブレーキ１１速　１セット＋ディスクブレーキ１２速１セット

COM3,SAG ：シマノリムブレーキ１１速１セット

8-2-6 失格

先頭から遅れ、周回遅れと見込まれた選手は周回遅れとしてフィニッシュジャッジの判断で排除する。
目安は以下であるが、フィニッシュジャッジが周回時間を勘案して決定する。

ステージ１Ｂ	６周回（５４ｋｍ）まで	先頭から７分遅れ
	７周回（６３ｋｍ）以降	先頭から９分遅れ
ステージ２	６周回（５４ｋｍ）まで	先頭から７分遅れ
	７周回（６３ｋｍ）以降	先頭から９分遅れ

周回遅れになって直ちに競技を停止した周回遅れ選手は記録される。
コミッセールの指示を無視して走行を続けた選手は記録されない。

大量の周回遅れ失格選手が発生した場合、チーフコミッセールは特定周回以降の失格選手に対してペナルティータイムを与えた上で翌日の競走に参加を認めることができる。
この処理は翌朝公表のコミュニケで発表される。
ジュニア＋残念レース（コンソレーション）

1 日目に失格となったシニア選手とジュニア選手で 2 日目午前９：００からジュニアのレースを行う。
1 日目に失格となったシニア選手の残念レース参加費は無料とする。
チームスタッフの参加は認めない。
日曜日８：００から８：３０までの間にエントリーを行い、出走サインを行うこと。

8-2-7 走路上での失格、棄権

走路上で機材故障、事故、落車等により競技を中止する選手、周回遅れ失格を通知された選手は原則自走で本部まで帰ること。
ジャージを裏返す、ゼッケンを外すなどして、競走から排除されたことを示すこと。
失格後、ゼッケンを装着したまま走行した場合、ペナルティーの対象となる。
自走できない選手はサグワゴンに申し出ること。
サグワゴンは選手、自転車を 2 回以上に分けて本部まで運搬する。

8-2-8 サグワゴンによる観客輸送

今年観客のゴール地点への輸送は行わない。

8-2-9 その他注意

・低体温症：2011 年大会において低体温症を発症した選手がいた。
標高の高い会場で雨にぬれた競走の経験が無いためと思われる。
選手は冷たい雨の中でも練習をして、どのような服装をするとよいか研究すること。
・サングラス：2011 年大会においてトンネル内で大量落車が発生した。
以下に注意して欲しい。
＊レースディレクターは道路管理者に全ての照明が点燈するか確認する。
＊全ての照明が点燈した場合、競技規則を満足する照度である。
＊選手はトンネル内部で前が十分見えるサングラスを着用すること。

半透明から透明のサングラスを推奨する。漆黒のサングラスは危険です。

・ライセンス：２０２３年にライセンスコントロール会場で電子ライセンスを表示できない事例が発生した。一部キャリアでは電波が入らないため、スマートフォン画面にライセンスが表示できない事象が起きた。ライセンスが提示できない場合は参加できないので、事前に端末に保存するとこを推奨する。

９．表彰、賞品配布

表彰担当が身柄拘束します。表彰式までチャンピョンチェアーでお待ち下さい。

ステージ 1A：最終選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位３名

個人総合１位にはリーダージャージを渡します。

上位３名の表彰　　小花束＋リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ1

ステージ 1B 開始前：U-23 賞　O-40 賞　団体総合

ステージ１ｂ　：先頭選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位３名

U-23 賞　リーダージャージ白

O-40 賞　リーダージャージ桃

スプリント総合賞１位　リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ

総合１位の表彰　　リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ

ステージ 2 開始前：団体総合

ステージ２　　：先頭選手ゴール後直ちに行います。

ステージ上位３名のみ直ちに表彰です。

小花束＋ｼｬﾝﾍﾟﾝ1

U-23 賞　リーダージャージ白

O-40 賞　リーダージャージ桃

スプリント総合賞 1－３位

中花束＋リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ3

総合１－３位の表彰　大花束＋リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ3

団体総合

この式典に欠席した選手はペナルティーの対象となる。

賞金金額は別紙賞金表による。

賞金は賞金対象選手所属監督指定口座に５月末前後までに振り込まれる。

賞品の配布は下記の通りとする。

シニア賞品配布目標時間　：１６：００－１６：３０分まで

配布場所：本部にて　受領サイン後

ステージ 1a までのコミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。
ステージ１b までのコミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。
ステージ 2 までのコミュニケは現場本部付近に張り出す。

10. ゼッケン回収
チームマネージャーはゼッケン、フレームプレート、計測チップを全競技終了後６０分以内にチーム毎受領したケースに全て収めて返還すること。選手個別での返還は受け付けない。
ゼッケン、フレームプレート、計測チップを返還しない場合ペナルティーの対象とします。
計測チップを返還しなかった場合１０，０００円の罰金とする
使い捨てゼッケンを導入する場合、選手の賞金金額を減額せざるを得ません。主催者は出来る限り選手を支援したいと考えています。御理解と御協力を求めます。
共通機材と交換した車輪等を競技終了後本部付近共通機材車にて返還します。

11. 供託金
本大会において供託金は５，０００円とする。
本大会において１ＳＦを１７０円（≒１６５．７８１円　１２月２５日）として計算する。

12 医療施設
県立木曽病院　木曽郡木曽町福島６６１３－４　　コースから２０分
０２６４－２２－２７０３
http://www.pref.nagano.jp/xeisei/kisohosp/

当日救急医が会場において応急処置のみを行う。

13.コミッセールパネル
レースディレクター／チーフコミッセール　　藤森　信行
コミッセール２
コミッセール３
モトコミッセール１
モトコミッセール２
フィニッシュジャッジ
セクレタリー　　小川　知大
以下決定次第順次発表

14.このテクニカルガイドの対する追加情報、質問は下記のホームページ参照のこと
2days race in 木祖村 公式ホームページ　kisomura2days.com

15.修正経歴